

鬼北の文化

発行所
鬼北町文化協会
(鬼北町教育委員会内)
TEL45-1111
発行人
松岡美保

新年度に向けて

鬼北町文化協会会長
(日吉・コールナチュレル)

松岡美保



去る五月十二日開催の総会において、不肖私が会長職を続投することになりました。至らぬことも多いと思いますが、会員の皆様とともに文化活動を推進して参りたいと考えております。一層のご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の四役は、新しく副会長に井上静雄氏、佐々木友子氏、事務局長兼会計に昨年度と同じく児玉正則氏が承認され、決定いたしました。何卒よろしく願います。

さて、これからの文化活動を考えるとき高齢化による会員の減少は大きなネックとなっております。当会の令和六年度末の加入団体数は三十五、会員数は四百五十八名でした。十一年前の平成二十六年は千人を超えており、現在は半数以下になっております。幸いにも現在加入中の団体の多くは積極的に定期的な活動を展開する、活動を広げる等の姿勢がみられます。そのような地道な活動を続けていく中に、若者や子ども達の新会員の獲得につながるかと考えております。

昨年は毎年行われていた研修旅行が雪のた

め中止になり、会員同士のふれあいの機会が減ってしまいました。今年度より多くの方にお声かけをして、楽しく、ワクワクするような文化協会にしていきたいと思っております。ところで、三年後の令和十年に国民文化祭が愛媛県で開催されることが決定しました。二十八年ぶりのことだそうです。まだまだ先のことですが、鬼北町の良き文化を全国の方に知っていただけるチャンスです。他県の文化活動を研修し、準備していくつもりです。私の専門は「コーラス」です。三月には二十五回目の定期演奏会を開催し、四月には日吉夢産地でグリーンフェスティバルに出演しました。来年度は結成五十周年を迎えます。小さな町の小さな合唱団ですが、元気で歌える喜びを地域の方にお届けしたいです。



方言の中で、デジャブ

鬼北町文化協会副会長
(予土歴史文化研究会)

鬼北町支部)

井上静雄



初めまして、総会で副会長に任命されました井上静雄と申します。戸惑うことばかりですが、先輩役員の皆様からご指導を戴き、会員の皆様とともに学びながら務めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私の所属する前掲の「予土歴史文化研究会」は現在、伊予の国と土佐の国併せて十三支部、二百三十四名の会員数です。津島町に事務局を置き、総会と記念講演を伊予側と土佐側隔年で催し、年一回の予土交流会を行っています。第二十回からの開催地は鬼北町、津野町、四万十市、西予市、松野町です。なじみのある幡多弁がこじやんと飛び交う中で、自分のルーツは広見川の流れにあるんやなと感じ、「NHK連続テレビ小説あんなん」の土佐弁に感動し、四国の山村暮らしを、胸を張って楽しむべきじゃないかと気が付いたのも会のお陰です。

さて、今年の総会で記念フィールドワーク「津島町岩松重要伝統的建造物群保存地区制度と町並み散策」が、案内人の大塚志織さんにより行われ、小西本家離れの蔵からスタートしました。非常に楽しく思ったのは、町にまつわるエピソード

が方言を交えて紹介され、笑いが絶えなかったことや、途中から小学生の男子が町家の紹介をして、その立派なガイドぶりに大拍手が巻き起こっていたことです。古い町並みに新しい後継者の芽が吹いて「なんだか大丈夫だな、この町」と光を感じ、高知県や伊予市ほか遠方の皆様もほっこりとして満足げでありました。

まち歩きラストシーンで「前に見たような不思議な」感覚になり、ふと四十二年前内子の町で修理二棟目の途中を見学させて戴いた岡田文淑さんの様子が浮かびました。「これはデジャブというやつだ。目の前に修理二棟目と魁たる案内人が居る。ああ、こうやって町が再生されていくんだな。ギブアップしないで今出来ることをやり続けることかな」と思いました。

町の賑わいと文化の継承はみんなの願いです。鬼北の皆さまの日々の活動に、心からのエールを送りたいと思います。



節安花とび踊り保存会

節安花とび踊り保存会

渡 辺 満 明

毎年旧暦一月十六日に近い日曜日、鬼北町父野川上・節安地区の薬師堂境内で、安産や家内安全を祈願し、「節安花とび踊り」が奉納されています。

鉢巻・たすき・わらじ履きで、白刃の太刀をかざして踊る極めて勇壮な踊りで、戦国時代、宇和郡を侵略した長宗我部氏により伝わった土佐の「太刀踊り」が転化し、この地方に伝わったものといわれています。

伝説によれば、戦国のころ高貴な身分の落人が、難産のため苦しんでいるのを救うため、長曾我部の武士たちと地元の農民が「花とび踊り」を踊り、節安のお薬師様に安産を祈願しました。女性は女兒を出産しましたが、産後の病で母子とも死亡。地元の人たちは手厚く弔って、お薬師様の並びに母子地蔵をつくってその霊を祀ったといわれます。

このころから継承されてきた節安花とび踊りですが、昭和四十年代に節安地区が無くなり途絶えていましたが、昭和五十二年に地元の有志と父野川上分館の働きかけにより、「節

安花とび踊り保存会」が結成され復活。現在は二十五名の会員で活動を行っています。

年配者は若い世代に伝統を伝え、若い世代がそれを受け継ぐことがかつては、当たり前でした。この文化伝承の流れが、過疎・高齢化、若者の流失により失われつつあります。

花とび踊り保存会はこうした危機に直面しながら、老若男女一丸となって地域伝統文化の継承に努めています。こうした活力が伝統文化の継承のみならず、さまざまなコミュニティ活動へ波及してくれることを願ってやみません。



二つの美術グループが合同して

美術グループ新愛会

山 本 房 子

新人という会（二十名・四十年）と愛桜会（十六名・三十年）が一つになって「美術グループ新愛会」と改名した。合同展は毎年、中央公民館ロビー展の他、広見郵便局で旧会員の山草グループと一緒に六月開催し、涼感・爽やかさが好評であった。

また「なんでも館」（駅前アエールの前身）では、グループ展の他、各自の個展を協力し合って開催。更に施設（三階）へ衝立や作品を運んで展示し、遠くへ見に行けない人達のためにと活動した。

愛媛県地域を描く絵画展にも三十七年間参加・出品し、県内の文化や産業・歴史にも触れて多くを学んだ。外部とのつながりは元会員の楠氏が昔美術グループ会員であったことから、転勤後松山より作品を送って戴き、毎年町展に出品。また早川氏は町内で勤務後、伊予市へ移住後も作品をお借りし、きほく作品展を賑わした。更に元伊予銀行支店長の宇都宮氏の御協力で衝立五枚を購入でき十年間使用後、日吉公民館へ寄付した。

私達はただ描くのみでなく、松山市や八幡浜市の美術館等で様々な研修を重ね、更に地元の作品展や県展移動展開催の折にも協力を惜しまず参加した。

またグループ活動で土佐の大堂海岸へスケッチに行った折、車を降りて狭い小径を海岸の方に歩いて行く途中、高齢の芝季道氏は道筋の狭い小径に立って太平洋を眺めておられ、私も思わず「先生お気を付けて！」と声掛けしたものであった。

長年「美術とは？」と振り返って見るに、断崖の上に立って遠く太平洋を眺め、その大きさや潮の香りを味わうのに似ていて、『真実を知ることだ』と気が付いた。本当の事を知る、真実を見る。その奥に「美」がある……と。



広見郵便局開館記念ロビー展（平成29年6月16～30日）
（左から）故 芝令香先生・広見局長さん・山本
（後列）井上・佐々木・岡原

～お知らせ～

鬼北町文化協会の情報を鬼北町のホームページに掲載しています。過去に発行した本誌のデータを確認できます。

鬼北町文化協会

検索



鬼北町文化協会加入グループ (7月1日現在)

部 門	細部門	団体数	人 数	部 門	細部門	団体数	人 数
展示部門	生 花	5	19	文芸・生活 文化部門	文 芸	2	40
	書 道	3	61		俳 句	2	15
	絵 画	1	5		古 典 文 学	1	7
	園 芸	2	17		茶 道	1	8
	陶 芸	1	4		囲 碁	1	10
芸能部門	洋 楽	1	13		生 活 文 化	1	5
	詩 吟	1	20	文化財・ 郷土芸能部門	文化財研究	1	11
	和 楽 器	1	24		郷土芸能等 保 存 会	8	186
	カ ラ オ ケ	1	1		合 計	35	458
	民 舞	1	6				
	洋 舞	1	6				

鬼北町文化協会 3 大イベント

※各行事の詳細は、4 ページをご確認ください。

第21回 きほく作品展

子どもからシニアまで
500点以上の作品が集結！

来場者数は4日間で700人を超えます。皆さんも出品してみませんか？9月12日(金)まで申込を受付けています。詳細は事務局(45-1115 内線4112)までお問い合わせください。



第21回 きほく芸能まつり

エネルギー溢れる
ステージ発表をご覧あれ！

文化協会加入団体やゲスト団体の皆さんが出演されます。日々、淡々と練習に取り組むその成果をぜひ観に来てください！



第74回 秋季県展移動展 (鬼北会場)

多彩な作品が
あなたの心を躍らせる。

厳しい審査を経て入選・入賞した作品を是非ご覧ください。鬼北町や南予に縁のある方の作品を70点ほど揃えています。



文化行事のご案内

● 既に終了した行事

月	日	時 間	行 事 名	開 催 場 所	主 催
4	19 (土) 20 (日)	9～16時 9～15時	春の山野草展	広見体育センター	鬼北山野草会
5	24 (土) 25 (日)	9～16時 9～15時	山野草・山あじさい展	広見体育センター	鬼北山野草会
6	21 (土) 22 (日)	9～16時 9～15時	初夏の山野草展	広見体育センター	鬼北山野草会
	29 (日)	13～15時	鬼北スポーツダンス発表会	鬼北総合公園	鬼北スポーツダンスサークル
8	14 (木)	18時30分～	武左衛門ふる里まつり	日吉夢産地	武左衛門ふる里まつり実行委員会

● これから実施予定の行事

月	日	時 間	行 事 名	開 催 場 所	主 催
9	20 (土)	17時30分 ～20時	～秋の夜に神々が集う～鬼北の里の夜神楽、 ひよし星降るキャンドルナイト	明星ヶ丘	富母里神楽保存会 明星ヶ丘いきいき会
10	11 (土) 12 (日)		でちこんか2025	奈良川河川敷	でちこんか実行委員会
	9(木)～11(土) 12 (日)	9～17時 9～15時	第21回きほく作品展	広見体育センター	鬼北町文化協会
	25 (土) 26 (日)		秋の山野草展	広見体育センター	鬼北山野草会
	10月下旬～11月上旬(未定)		奈良山等妙寺史跡公園 1 周年イベント(仮)	史跡公園・歴史交流館	教育委員会
11	3 (月)		愛治秋まつり 日吉文化祭	愛治地区 日吉地区	
	8 (土)		富母里神楽奉納	父野川	
	8 (土) 9 (日)	9～17時 9～15時	きほく生花展・お茶会 ※お茶会は11/9(日)10～15時	広見体育センター	きほく生花展お茶会実行委員会
	9 (日)		近永秋まつり 日吉秋まつり	近永地区 日吉地区	
	15 (土)	13時～	第21回きほく芸能まつり	広見体育センター	鬼北町文化協会
	16 (日)		農民祭・総合文化祭 遺跡まつり	三島小学校 泉小学校	
	19(水)～24(月) 25 (火)	9～16時 9～12時	第74回秋季県展移動展鬼北移動展	広見体育センター	鬼北町文化協会
12	13 (土) 14 (日)	9～16時 9～15時	新年を飾る山野草展	総合福祉センターひまわり	鬼北山野草会
1	11 (日)		子泣かし天狗まつり	広見体育センター	太鼓集団魁
2	下旬		節安花とび踊り奉納	節安薬師堂境内	
3	15 (日)		結成50周年日吉・コールナチュレル定期演奏会	日吉住民センター	日吉・コールナチュレル

※社会情勢の状況により、日程の変更や中止になる場合があります。

令和 7 年度
鬼北町文化協会理事

団 体 名	氏 名
小 原 流	二 宮 静 子
肱南書道院 出目芸芸部	小 田 和 利
鬼 北 山 野 草 会	武 田 國 次
鬼 北 か る た 会	河 添 英 樹
大 宿 念 仏 保 存 会	松 岡 長 造

※ 理事には四役も含みます。

令和 7 年度
鬼北町文化協会役員

役 職 名	氏 名
会 長	松 岡 美 保
副 会 長	井 上 静 雄
	佐々木 友 子
事務局長兼会計	児 玉 正 則
監 事	川 添 勝 代
	中 川 博 之

鬼北の文化編集委員

河 添 英 樹
山 本 房 子
松 岡 美 保
井 上 静 雄
佐々木 友 子
児 玉 正 則